

平成28年度アジア拠点広島コンソーシアムによるGSC構想事業【GSC 広島】 「ホップステージ第二回講演会」

平成28年度アジア拠点広島コンソーシアムによるGSC構想事業の一環として、ホップステージ第二回講演会を開催しました。

本講演会は、科学技術振興機構（JST）グローバルサイエンスキャンパス（GSC）事業の採択を受けて実施されるもので、アジア拠点広島コンソーシアムによるGSC構想事業のキックオフとして位置付けており、広島県内外の高校生を対象に「科学の「学び方」を学ぶ」ことを目的として開催しました。

<開催概要>

日時：2016年6月19日（日）13:30～16:50

場所：広島大学東千田キャンパス未来創生センターM401, M402（4F）

主催：アジア拠点広島コンソーシアム

参加者数：約200名（高校生、高校教諭）



【会場風景】



【講演の様子】



【講演の様子】

1. 科学リテラシー講座

●広島大学 生物圏科学研究科 西堀 正英 准教授
「課題研究を始める前にまず何をすべきか、
何をしなければならないか その②」

「経験と勘から証拠へ」をテーマに、アクティブラーニングにより高校生を積極的に講義に参加させ、課題研究に対する姿勢や取り組み方を体感させた。先行研究や身近なニュースを題材に、研究のベースとなる観察力を高める重要性を示唆した。



【西堀准教授】

2. 研究者倫理講座

●広島大学 理学研究科 圓山 裕 教授
「研究の進め方」

研究を進めるためには基礎学力と専門性とのバランスが重要とし、高校生の学習意欲を喚起した。研究の進め方を具体的に示すことにより、受講生が「リアルな科学・技術の世界へ踏み出す」足がかりとした。



【圓山教授】

3. 科学講演会

●広島大学 医歯薬保健学総合研究院 弓削 類 教授
「宇宙を飛ぶ幹細胞～微小重力環境を使った再生医療とロボットを使ったリハビリテーション～」

「研究を世界の人に役立てる」ことを大きなテーマに、重力制御装置を用いた再生医療の研究、ロボットを活用したリハビリテーションといった最先端の研究について講演を行い、高校生の視野を広げるとともに研究意欲の向上に寄与した。



【弓削教授】